

児童養護施設訪問結果について

- ・青森県弘前市 児童養護施設 弘前愛成園様への訪問



令和5年10月10日（火）児童養護施設弘前愛成園に東北遊商社会貢献委員佐々木委員と大久保が訪問させていただきました。

弘前愛成園様では佐藤優輝園長に園内の施設の見学、説明を頂き、我々東北遊商からの年次の寄付貢献活動に対し感謝の意をいただきました。

園内の施設としては大変行き届いており、未就学児童から受験を控えた高校生など40数名の話もお聞きいたしました。

入園者数は当初80名程度であったのが里親制度の推進等により現在は減少している状況であります。

現在進めているのが近隣の戸建て住宅を借り上げ、そこに児童と園職員で暮らす形も取り入れているとのこと。また今後は周辺に自園で戸建て住宅を数棟建て、同様の方法での児童養護施設としていくとのことのお話でした。

近隣企業、団体様方からも寄付、園児を招待してのあらゆる活動を行っていただいているようで、地元企業様方にも感謝いたしておりました。

東北遊商としましても今後も出来る範囲での寄付貢献活動を致したいと思っております。

担当：マルエス総業 大久保

訪問時の様子



・青森県青森市 児童養護施設 藤聖母園様への訪問

令和5年10月10日東北遊商社会貢献委員会は青森市にある児童養護施設「藤聖母園」を訪問しました。

当日は杉本委員長はじめとする四人の社会貢献委員メンバーでの訪問となり初めに当該施設萩谷 寛園長と面会し、運営に関するお話を約30分程度聞かせて頂きました。

昭和20年に戦災孤児の施設として建てられ現在に至るそうですが、国の政策や資金の問題などで何度も閉鎖の危機があったそうですが、沢山の沢山の支援、援助を受け現在まで続けられているそうです。

この施設の収容人員は90名と言うことですが、現在は約40名の子供たちが生活をしているそうで、その子供たちのほとんどが家庭虐待により親元を離れ暮さなくてはならなくなった子供たちということでした。

施設の運営にはやはり国からの援助が一番必要ではあるが、国の考えと現実とのギャップがあり、なかなか思うほどの援助が受けられていない状況のようです。

我々、東北遊商社会貢献委員会は今後もこのような施設を出来るだけ多く訪問し、お話をお伺いしながら我々に出来る支援や援助を続けていきたいと考えております。



藤聖母園では後援会を設立しております。後援会設立の趣旨など載っておりますので

詳しくは社会福祉法人藤聖母園ホームページをご覧ください。

担当：日成仙台販売 佐々木

弘前市の児童養護施設『弘前愛成園』訪問時に対応頂いたのは園長兼センター長の「佐藤優輝」園長に園内を案内され園長室でお話を伺いました。初めてこのような場に伺ってお話を聞いて思った事は、まだまだ大人の身勝手な行動で苦しんでいる子供が多い事、その苦しんでいる中で沢山勉強して立派に育っている事（医大を目指している子なんかもいました）その施設を卒園してその施設へ寄付などをしている卒園者もいる事。私自身、私達の子供たちがどれ程幸せなのか身に染みて感じました。今度もし機会があればその子供達とお話等をしてみたいと心から思いました。（遊販 佐々木）